

普及活動情勢報告

情勢報告（平成26年12月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

情勢報告

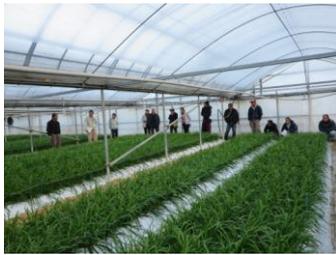
炭酸ガス施用やヒートポンプの効率的な利用に向けた研究会組織の設立（11月28日）



一部の農家で導入が始まっている炭酸ガス発生装置や農業用ヒートポンプの効果的な利用技術等の確立・普及に向けて、ニラ・キュウリ・ミョウガ・ユリなどの農家による研究会組織が設立されました。当日は、環境制御技術の基礎や安芸地区での取組状況等について講演があり、データの見える化やそのデータによる農家間での技術検討の必要性など、今後の取組に向けた課題提起がされました。

今後は当地区における技術確立による農家所得の向上を目指して定期的な研究会活動を支援していきます。

JA四万十ニラ部会支部会（12月9～15日）



JA四万十ニラ部会が現地検討会・支部会（5カ所）を開催しました。現地では電照等の実証試験ほ場を見学し、慣行栽培との生育状況の比較を確認しました。

支部会では、JAと普及所から苗作り時の注意点や、保温対策、炭酸ガスや照度の測定結果、経営課題確認の必要性などについて、話をしました。

参加者からは「電照の導入を検討したい」という声も聞かれました。今後も、ニラの産地振興に向けて支援していきます。

JA四万十ピーマン部会現地検討会（12月4日）



JA四万十ピーマン部会が第1回目慣らし会及び現地検討会を開催しました。

普及所からは防寒対策の重要性や品種毎の肥大促進技術について説明しました。検討会を開催した2ほ場はいずれも防寒対策をきちんとしており、参加者は「急に冷え込んだので、まだ防寒対策ができていないハウスがある。急いで作業を進めたい」との声が聞かれました。

引き続き現地検討会や巡回指導を通じて品質向上及び収量増加を目指して支援していきます。

米ナス部会総会（12月17日）



J A高知は十和支所米茄子部会の平成26年度総会がJ A十和支所で開催され、事業実績と計画について協議が行われました。

普及所からは、p Fメーターを使った灌水管理の調査結果と、半身萎凋病防除について情報を提供し、生産者との意見交換を行いました。

生産者からは、「先進地を視察して技術を習い、ちょっとでも所得を増やしたい。」と来年度に向けた決意が聞かれました。

今後も、米茄子の産地振興に向けて支援していきます。

農事組合法人藤ノ川ファーマーズの設立総会（11月29日）



四万十町藤ノ川集落は、任意組織「藤ノ川ファーマーズ」が平成12年から集落営農に取り組み、飼料用米などの特定作業受託に取り組んできました。

この度、この組織が「いつ誰が耕作できなくなっても安心して頼める」「お互いが協力して、集落の農地を守る」「作業従事者に保険適用できる」農事組合法人として設立することを総会で決定しました。

27年から、藤ノ川集落は新体制で集落営農を進めていきます。